

この世界的な危機には、本当はどういう意味があるのか？ 聖書預言と情勢アップデート 2020.05.03

https://www.youtube.com/watch?v=It-_KMr_TUM

これには本当は何の意味があるのか？ では始めましょう。おはようございます。私たちの毎週の聖書預言アップデートへようこそ。今日、皆さんの注目を引きたいのは、テサロニケ第二2章にある特定の預言です。まもなくそこに入りますから、聖書を開いて用意をしておいてください。今日共に過ごす時間の中で私が達成したいと思っているのは、聖句から説明することです。

『この世界的な危機には、本当はどういう意味があるのか？』この一か月、私たちはこの危機の預言的意義に取り組んできました。そして、それがいかにこの新世界秩序へと向かっているように見えるか...

それは聖書が、黙示録や他の預言に関わる箇所です。私たちに告げられているのは、世界的な指導者が世界政府、世界デジタル経済、そして、この世界統一政府、つまり新世界秩序の傘下での、世界統一宗教を支配することです。さて、多くの人々がこれに気づき始めているように見受けられます。しかし、このことに関して勇気ある発言をする人たちが増えている中、それらは、よくても却下され、最悪の場合は検閲され、沈黙を強いられています。「陰謀論」とくくられて。それは、どんな反体制派や抗議者のことも「陰謀論を信じる変人」と表現する人たちによって広められています。このために、私は、過去のアップデートで引用したすべての情報と抜粋の信憑性を苦労して慎重に検証しました。そして私はまた、その点で私を助けてくれた多くの皆さんに非常に感謝しています。とにかくたくさんあって、本当に、情報がとても膨大な量で、全てを吟味するには時間が足りないのです。正直に言うと、新しい情報が浮上してくる速さには少し圧倒されてしまいました。この危機に関することで。私たちに今わかっていることは、3月初旬に予測された数字、私たちに告げられていた数は、全く現実とはかけ離れていて、それは、多くの人たちにとって、つじつまが合わないのです。何か匂う、と言ってもいいでしょう。また、COVID-19は、その病気を遷さない10歳以下の子供にとっては脅威ではないとの報告もあります。また、それほど制約的ではない措置が講じられている場合に、集団免疫(herd immunity)が安全に達成されている事も報告されています。しかし、ここアメリカでは3000万人以上のアメリカ人が失業しています。閉鎖と封鎖という厳格な処置によって。これでも十分でなければ、曲線が平らになっても、それは彼らが口にしていたことなんです。いくつかの州では、ロックダウン(封鎖)命令が延長されているだけでなく、強化されています。昨日のフォックス・ニュースの報道では、シカゴのローリ・ライトフット市長は、警察が、自宅待機の命令に従わない住民に対し、出頭命令を出し、場合によっては逮捕することもあると脅しています。その一方、シカゴは1300人以上の受刑者を釈放しました。市長の発言の引用です。「私たちはあなた達をシャットダウンします。...

私たちはあなた達に出頭命令を出します。必要があれば、あなたたちを逮捕し刑務所に入れます。」
—引用終了—
次の件では心が痛みます。金曜日にツイッターを見ていたらKHON2のニュースで、カリフォルニアの新婚夫婦が逮捕された記事を見つけました。ここハワイです。旅行者に対する州の自己隔離命令に違反したためです。この夫婦がとても可哀想だと思います。何か別のことが進行しているんじゃないかと皆さん同意されると思います。それは、多くの驚愕と混乱、特に混乱をもたらしています。私が個人的に信じているのは、その混乱が、他でもなく混乱の創始者から出ているとい

うことです。悪魔自身です。それは、私に言わせれば、欺瞞的な筋書きをさらに推し進める一方、その筋書きに反対する者を皆 黙らせているようです。私は悪い知らせの伝え手になるのは嫌なのですが、もっと悪くなりそうです。火曜日、タッカー・カールソンは以下の「ばかげた措置」を激しく非難しました。

「コロナウイルスのパンデミックに関する『誤った情報』と戦っていると主張する 大手テクノロジー企業が取った」ものです。ーカールソンを引用中ー 「このパンデミックへの完璧な対応が 何なのか、私たちには完全にはわかりません。現時点では客観的な答えはありません。せいぜい、私たちは誠実に心を開いて、 ゆっくりと進むことができます。実際のところ、まさに、 より多くの情報に基づいた議論こそが、私たちが 今後賢明な判断を下すために必要なものです。私たちが皆にとって不幸なことに、情報に基づいた議論こそが、 まさしく当局が望まない事なのです。彼らは、絶対的服従を求めており、そのために、表現の自由を抑え込んでいるのです。」当然の事だと思いますが、ロックダウンを終わらせて、再開するための抗議が" 全国的に高まっています。フォックス・ニュースが報道したところでは、コロナウイルスの自宅滞在命令が、経済の完全崩壊が懸念される中、 全国的に抗議活動を起こさせています。

人々は仕事に戻りたいと思っています。その報道の中で私の目を引いたのは、 メショーン・マドックの発言です。ミシガン州における、そのような抗議活動を 組織している人です。彼女はミシガン州保守党連合の一員です。彼女はフォックス・ニュースに語りました。これを引用します。お聞きください。

「隔離というのは、 病気の人の動きを制限するものであり、健全な人の動きを制限するのは 暴政に過ぎません。」さて、彼女や、彼女のような多くの人たちは、 他でもない、億万長者の実業家イーロン・マスクと 相性が良いようです。金曜日のアルツ・シェバの報道によると、 彼は、コロナウイルスのロックダウンを 「ファシストで憲法に反するもの」と呼びました。ラジオインタビューでのマスク氏の言及を そのまま引用します。ー引用ー 「屋内退避の拡大、というか、 私たちに言わせてみれば、憲法上の全権利に反する 強制自宅監禁は、私の意見では、 恐ろしく、間違ったかたちで、 人々の自由を壊すことであり、人々がアメリカに来て この国を築いた理由ではない。悪いが、とんでもない！ 非道な行為だ！

それは損失と、大きな、大きな損害を 引き起こすだろう。」私としては、、、 そうなるだろうということではなくて、本当にもうそうなってしまうと 私は信じています。今、持ち上がる問題は『いつになったら国は再開するのか？』たぶん、こう問う必要もあるでしょう。『いつか、再開されることになるのか？』いくつかの州は、今、ゆっくりと 再開し始めています。しかし、まだ判定が下されていない点は、 既存の損害が、それに続く崩壊をすでに 引き起こしているかもしれないということです。その崩壊は、全世界が二度とそこから 復興できないようなものです。見出しだけ、ここ数日の見出しだけを見れば、 十分だろうと思います。実際、私が共有したいと思っている 見出しのほとんどは、見出しだけですが、約 48 時間以内に出たものです。それらのすべてに共通することは 次のとおりです。「最悪の事態は まだこれから。」以下が第一の見出し。「隔離疲れが蔓延する中、ファウチ氏は『コロナウイルスの第 2 波は避けられない』 と述べている。」ー引用ー もう一つ。

「ワクチンなしでは、航空業界は 何年間も立ち直れないかもしれない。」「GDP は第 1 四半期に 4.8% 減少し、 2008 年以来最大の減少となり、 今後さらに悪化する。...」 「米国連邦準備銀行総裁から議会

へ：『経済崩壊を防ぐために 必要なことは何でもすべきだ』」繰り返しますが、見出しだけです。では、次のもの。「世界の労働力の半数近くが パンデミックで生計を失う危険性がある。」アメリカだけの話ではなく、全世界、世界的に、です。次は、、、 不吉なものです。

「国連による警告。コロナウイルスの副産物が 次のパンデミックにつながる。すなわち、『世界的な飢餓』」 「限界！：ロックダウンされたアメリカ人の72%は、6月中旬までに限界点に達する、と言う。」

「何百万頭もの豚、鶏、牛が 安楽死させられている一方、 マスコミは来たる肉不足を警告。」
そして、この最後の一つは、私は訳あって、これを最後に位置付けています。皆さんも、すぐにその理由が分かると思います。これがその見出しです。「失業保険申請手続きの遅延に鬱憤が増大。人々は食料がなく、自殺を口にしてている。」あなたがこの動画を見ていて、もしも、そんな風に思っているのなら、

私はあなたを励ましたいです。私はあなたのために良い知らせがあります。自殺は答えではありません。イエスが答えです。神はあなたを愛しておられます。神はあなたを造られました。神はあなたのために計画を持っておられます。あなたの将来のためのご計画です。神は人の形をとって来られました。これについては、締めくくりにお話しします。彼は十字架で、私たちの全ての罪のために 死んでくださいました。完済しています。私たちを救い、そしてこの世界から 私たちを助け出し、連れ出すために。自殺は答えではありません。イエスが答えです。そして、私はそれをさらに一歩進め、提案します。あなたがこの動画を見ている理由は、ただ、この時のためです。これは、あなたがイエスに向かうための機会です。神がどれほどあなたを愛しているか、あなたに少しでも分かっていたら… 彼はあなたをとっても愛しています。

「神は、実にそのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。」 (ヨハネ 3:16a)

神はあなたをそれほどまでに愛されたので、そのひとり子をお与えになりました。

「それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つ為である。」 (ヨハネ 3:16b)

ええ、私はこれが非常に悪い知らせだということを認識しています。しかし、私がよく言ってきたのは、それが適切な英語ではないことは承知していますが、

「悪い知らせが悪ければ悪いほど、良い知らせはそれだけ良くなる。」そして、たしかに、これは悪い知らせです。しかし、もっと良い知らせは、イエスが 私たちを救うために来られたということです。私たちはこの世界で 滅びるのではありません。私たちはこの世界から 取り出されるのです。この墮落した邪悪な世界は、私たちの最終目的地ではありません。私が信じているのは、、、 以前にも言いましたが、再び言わせてもらいます。しかし私が本当に信じていることは、神がこの世界的な危機を許された 主な理由の一つは、これが計画されたものか否かに関わらず、私たちに、この一つの真理を 思い出させるためである、と。その真理とは 次のことです。この世界は、私たちの本当の家ではありません。私たちはただ、通り過ぎているだけです。そして、私はクリスチャンとして、私たちが大きな誤りを犯すと思うのが、この地球という一時的な土壌に 私たちの生活の根を深く植え付けてしまう事。この世の物事は、消え去ろうとしています。私の信じるところでは、私たちの誰にも 想像がつかないくらい すぐに。

さて、質問に戻ります。「ここで本当に起こっているのは何か？」「これには本当は何の意味があるの

か?」

答えはこれです。これは、イエス・キリストがまもなく戻ってこられることと、教会の携挙を意味しています。もう一度言います。起こっていること全て、全ての出来事、この世界的な危機は、私たちが今までに見たことがないようなもので、二度と見ることもないであろうものですが、それは、イエス・キリストの教会の携挙を意味しています。どうやってそこに至るのか説明しますので、どうかお付き合いください。ここで登場するのは、聖書の中で最も深遠な預言の一つだと私が主張するものです。ほかでもない、テサロニケ人への手紙第二 2 章にあるものです。私がそんな風に言うのは、このパンデミックの前に、私たちは第二テサロニケを学んでいたところで、私たちはもうすぐ第 1 章を学び終えようとしていて、私は第 2 章をとて楽しみにしていたんです。その理由は明らかだと思います。そして、この危機が起きました。私はほとんど一ヶ月、この決定を遅らせてきました。このことについて祈り、主にこのことについて尋ねてきました。「主よ、第二テサロニケ 2 章への学びが遅れたのは、本当に神の摂理だったのですね。」と言うのも、私たちが今日にしているものは、まさに第二テサロニケ 2 章が描写しているものだと思います。今日はこれを深く検討するつもりはなく、この箇所を一節ごと説明するつもりはありませんが、それでも、第二テサロニケ 2 章の 1 節から 12 節までを取り上げたいと思います。私は、主の御心ならば、この章を詳しく説明したいと思っています。特に 3 節を追って、その理由を説明します。しかし私は、今現在、神の御言葉の中のこの章、つまり「テサロニケ人への手紙第二 2 章」が、今ほど重要であった時は他にないと信じています。最初に前置きをする必要があるのですが、アンディ・ウッズ博士が書いた本を手に入れられることをお勧めします。その題名は、「Falling Away (*日本語訳では『背教』)」— 霊的な逸脱か、肉体的な携挙か?— テサロニケ人への手紙第二 2 章 3 節の再検討 その中で、彼は 10 項目の理由を提示して、「大いなる背教」と呼ばれることが多い "Falling Away (*背教)" が、実際にはイエス・キリストの教会携挙のことを指していると説明します。

さて、なぜこれが重要なのか? それは神の御言葉の中のこの深遠な預言の形相全体を変えてしまう可能性があるからです。ですから再度、辛抱ください。皆さんの忍耐に感謝します。1 節から 12 節までを読んで、いくつかのコメントをしたいと思います。今日の世界で見られるものについて。さて、パウロは再びこのテサロニケの教会に手紙を書いています。2 通目の手紙です。それは約 1 年後だと信じられています。ここで皆さんに背景をお話ししなければなりません。それは彼の最初の手紙の約 1 年後でした。ところで、彼の最初の書簡とは何でしょう? 聖霊によってパウロが一番最初に書いた手紙は、テサロニケの教会に宛てた手紙でした。そして、私たちがテサロニケ第一を学んだ時に、とてもはっきりしたことがあります。パウロは、テサロニケの新しい信者たちをとても愛していました。そして、彼はそこに戻ることを切望しましたが、できませんでした。彼は実際、町から追い出されました。彼は約 3 週間、3 回の安息日しか、そこにいなかったかもしれないという人たちもいます。

だから、1 ヶ月、もしかしたら、もうちょっと長く、でも、1 ヶ月前後です。彼は町から追われました。しかし、彼はこの教会の信者達を心から愛していました。テサロニケ第一とテサロニケ第二について私にとって本当に印象的なのは、これが若い教会で、これらは、その若い教会の新しい信者たちなんです。皆さん、信じられますか? 使徒パウロは、大胆にも、新しい信者たちから成るこの新しい教会に教えたんです。多分 1 ヶ月という期間内に、パウロは彼らに、患難前携挙について教える大胆さが

あったのです。まさか～！ごめんなさい。。。いえ、謝ることはありませんね。私は、それは多くを語っていると思います。パウロは2通目の手紙を書いています。どうやら1通目の手紙と2通目の手紙の間に、誰かがパウロからであるかのように手紙を偽造し、「残念でしたね～ 私はパウロが携挙について 教えたことを知っていますが、あなたがたはそれを逃したのです。」と。そして、これより良い言い方がないのですが、彼らはパニックになっています。そこでパウロは、聖霊によって、この2通目の手紙を書くのです。そして、この第二書簡の第2章に、預言に関して非常に具体的に書かれています。私が思うに、大患難前の携挙を信じているキリスト教徒なら誰でも、神の御言葉の中のこの特定の箇所を 理解していないのであれば、重大な過ちを犯すことになるでしょう。では1節。使徒パウロが聖霊によって、書いています。

「さて兄弟たち。私たちの主イエス・キリストの来臨と、私たちが "主のみもとに集められること" に関して、…」 (テサロニケ第二 2:1)

それは携挙です。携挙のことです。私たちが主のみもとに集められる？ 主のみもとに引き挙げられる？

「あなたがたにお願いします。」

「霊によってであれ、ことばによってであれ、私たちから出たかのような手紙によってであれ、主の日がすでに来たかのように言われるのを 聞いても、すぐに落ち着きを失ったり、心を騒がせたりしないでください。」 (テサロニケ第二 2:2)

そして3節で、パウロはこう言います。「どんな手段によっても、だれにも だまされてはいけません。...主の日は... 私は、1611年の欽定訳聖書に先立つ 1608年のジュネーヴ聖書から引用します。ジュネーヴ聖書や、他の多くの聖書で 訳されている語は、「出発」という言葉です。そして、悲しいかな、不運なことに、さらには、遺憾なことに、現代語訳では 「fall away = 墮落 (*背教)」と訳されています。

これについて会話をしたのを思い出します。この箇所の残りの部分に入りたいので、あまり深入りしないようにします。繰り返しますが、なぜなら、私はそれが、私たちが今どこにいて、どこに向かっているのかを 論じていると思うからです。ですが、私は非常に尊敬されている聖書学者と 話をしたことがあります。その方は本当に、真の聖書学者です。私はそうではありません。彼は、これが「携挙」であるとは考えていません。むしろ、「墮落 (背教)」だと。でも、彼は私に 面白いことを言いました。数年前のことです。私はそれが忘れられません。彼は言いました。「なあJD、もし3節のあれが携挙なら、それは、患難前携挙説にとっては『ダンクシュート』って事だな。」1月から2月にかけて、このことが 私たちの世界であらゆることを変え始めた時、私は頭の片隅で、テサロニケ人への手紙第二2章... テサロニケ人への手紙第二2章... と考えていました。そして私が出した結論は、次のとおりです。

患難前携挙を信じる時があるとしたら、それは今です。どっちつかずじゃなく。確かに、この特定の箇所、より具体的には3節をもってすれば そうです。なぜなら、もし、それが携挙なら、… 私はそうであると確信していますが、私のことを知っている皆さんは、私がこのことで悩んできたことをご存知でしょう。私はこれに葛藤して、何度も行ったり来たりしました。しかし、私は今日、確信を持って皆さんの前に立って、3節のこれは、教会の携挙について 語っていると断言することができます。さて、パウロが言っています。お聞きください。

「どんな手段によっても、だれにもだまされてはいけません。…」 (...主の日は...) 「まず "携挙" が起こり、…」

そして「...不法の者、すなわち滅びの子が 現れなければ、主の日は来ないのです。」 (テサロニケ第二 2:3)

「不法の者は、すべて神と呼ばれる物、礼拝されるものに対抗して自分を高く上げ、ついには自分こそ神であると宣言して、神の宮に座ることになります。」 (テサロニケ第二 2:4)

「私がまだあなたがたのところにいるとき、これらのことをよく話していたのを覚えていませんか。」 (テサロニケ第二 2:5)

「不法の者がその定められた時に現れるようにと、今はその者を引き止めているものがあることを、あなたがたは知っています。」 (テサロニケ第二 2:6)

さて次の7節に、特に注意を払ってください。

これが鍵です。

「不法の秘密はすでに働いています。ただし、秘密であるのは、今引き止めている者（聖霊）が 取り除かれる時までのことです。」 (テサロニケ第二 2:7)

携挙の時に聖霊が地上から取り除かれるのか どうかについては、議論がありますが、私は自説を譲らないわけではありませんが、個人的には、聖霊と一緒に取り除かれる という信念を持っています。

しかし、聖霊はまだ、おられるだろうと思います。聖霊は現在、信者の内に住んでいます。ですから、私たちが「取り除かれる」とき、聖霊は私たちと一緒に「取り除かれる」でしょう。そして(8節)

「その時になると、不法の者が現れますが、... それは誰ですか？ はい、反キリストです。ちょっと待ってください。「では、パウロは、教会が携挙で取り除かれるまで、反キリストは現われることができない と言っているのですか？」 「はい！」 もう一度言っているのですか？ ここにはだめだと言う人がいませんから、もう一度言います。パウロは、教会が携挙で取り除かれるまでは、反キリストは現われることができない と言っています。そして、やはり、、、ベリアの人たちようになって、聖書を自分で調べ、真理のみことばをまっすぐに説き明かしてください。これが真実です。そして8節、聖霊が取り除かれた後、教会が取り除かれた後、

「その時になると、不法の者が現れますが、主イエスは彼を御口の息をもって殺し、来臨の輝きをもって滅ぼされます。」 (テサロニケ第二 2:8)

さあ9節、ここで本当に具体的になります。そして、これは私が本当に焦点を当てたいものです。

「不法の者（反キリスト）は、サタンの働きによって到来し、あらゆる力、偽りのしるしと不思議、」 (テサロニケ第二 2:9)

そして10節。

「また、あらゆる悪の"欺き"をもって、滅びる者たちに臨みます。彼らが滅びるのは、... なぜ？ なぜなら、...彼らが滅びるのは、自分を救う真理を 愛をもって受け入れなかったからです。」 (テサロニケ第二 2:10)

「それで…」 11節です。これはかなり手厳しいです。かなり痛烈です。

「それで神は、惑わす力を送られ、彼らは（その）偽りを信じるようになります。」 (テサロニケ第二 2:11)

ちょっと待ってください。そこで止まってください。「ある"偽り"ではなく、「その"偽り"」です。

そうです。「その”真理とは、どなたでしょうか？」 「イエスです。」

「イエスは... 言われた。『わたしが（その）道であり、（その）真理であり、（その）いのちなので、わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことは出来ません。』」（ヨハネ 14:6）

イエスが”その”真理。 イエス・キリストです。イエス・キリストが（その）真理であるならば、反キリストが（その）偽りであるというのが、理にかなっていませんか？ もしかしたら、皆さんは、この”神ご自身が、この強い惑わす力を彼らに送られる”という概念を、受け入れ難く感じているかもしれません。 その結果として生じるこの欺きは、大変強力で、非常に強いので、彼らは実際にそれに惑わされ、それを信じてしまうのです。そして12節。 さらに悪化します。

「それは、真理を信じないで、不義を喜んでいた すべての者が、さばかれるようになるためです。」
(テサロニケ第二 2:12)

では、神の御言葉の中のこの箇所、この預言から、私たちの疑問に答えてみましょう。これには本当は何の意味があるのか？ 私はこれが教会携挙を意味していると申し上げます。それは、私たちの誰にも想像できないくらい 間近に迫っています。なぜなら、… その理由を言います。私たちはすでにこの惑わし、この欺き、この強い欺きを目にしています。そして、物事は筋が通らず、辻褄が合っていません。何かがおかしい。言ってみれば、「匂いテスト」をクリアしません。そして7節で、”すでに不法が働いている”というのは面白くないのでしょうか？ いくつかの翻訳では”不義”と訳されています。

結構です。「不法の秘密はすでに働いています。」今現在です。そして状況は悪化します。私の言った通りになりますよ。大変な対立が起ころうとしています。一方の人たちは、クリスチャンであろうとなかろうと、「再開するな！ 死者を出したくない！」と言うでしょう。なぜなら、恐怖には、とても力があるからです。恐れを使って、大衆を支配することができるのです。私は先週お店に行ってきましたが、人々は…つまり、私はちょっと傷つき始めてきてるんです。みなさんのことは分かりませんが、皆さんも同じようにしているかもしれません、妻と私と娘が、犬をビーチまで散歩に連れて行く時に、私たちは歩いていて…当然、誰もが外に出て来ています。というのは、他に行く所もありませんから。私たちが歩いていて、誰かが反対方向から来ています。彼らは私たちが前から来るのを見ると、彼らは..（避けて通る）カメラに映らないのは分かっています。すみません。戻りました。彼らは疫病のように私たちを避けるのです。面白いではありませんか。それで、この対立の一方には、「だめです、再開しないで！ 人々が死んだら困ります！」と言う人たちがいて、その議論の反対側にいる人は、次のように言います。

「再開しなければ、私たちが死んでしまう！」そして、その反対の人たちが言うのは、「あなたたちは人の命よりも 経済の方を心配している！」 私たちは、自分たちの間でもこの議論をしました。カメラなしの、オフレコで。そして問題は.. では、こうってみましょう。青信号になって、ハワイがこう言うときです。「よし、教会はまた集まってよい〜」それはどんな風でしょうか？ それはどんな感じになるのでしょうか？ 私たちはマスクを着用することを義務付けられるのでしょうか？ 私たちは6フィートずつ距離をとることを義務付けられるのでしょうか？ これはどうでしょう？ このコロナウイルスに感染していないという 何らかの証拠を示さなくてはいけないのでしょうか？ もしそうだとしたら、その証拠とは、どんなものなのでしょうか？ 面白いんですが、私がネットでリサーチをしていると、ほぼ例外なく、きまって、私が読んでいる記事に、広告が現れます。額で体温を測る機器の。私はそんな

もの買いませんよ。そして、それを使用している人々の写真があります。あなたに熱があるかどうか、体温を測るのに額をスキャンするんです。マジで？ うまくいった！うまくいった。現在形でなく、未来形でもなく、

私は過去形で話しています。「すでにうまくいったんです。」「不法の秘密はすでに働いています。」

このライブ配信の前に、私が言っていたことですが、もし私が悪魔だったら... 私は悪魔じゃないですよ。まあ、とにかく...ポール・ハーヴェイの「もし私が悪魔だったら...」私はあれが大好きです。しかしもし私が悪魔であり、全世界を支配するためにこの反キリストなる人物にとりつきたかったら？これが“完璧な入り口”でしょう。またあえて付け加えるなら、“完璧なタイミング”でもあるでしょう。

私は、他の先生方の話も聞いています。今朝ここに来る道中で1つ聞きました。この先生のことは、聞いたことがありませんでした。本土のバプテスト教会です。良い教えです。本当に良い教えです。でも失礼ながら、私はどうしてもこの概念を黙って受け入れることができません。「うーん、多分、まだだろう。今回のではなくて、たぶん、次の機会が来たときに...」「おそらく、これは衣装合わせであり、試運転かもしれない。」もしかしたら、そうなのかもしれません。しかし、最後までお聞きください。どうも論理的には思えないんです。今この時、あなたは全世界に対し、優位に立っています。今までになかった支配が可能になっています。そして、世界は既に完全な恐怖の中に生きています。ところで、それは主から来るものではありません。それは恐怖の霊です。悪魔による恐怖の霊です。神は私たちに、恐怖の霊をお与えになりません。しかし、その霊、悪魔による恐怖の霊は、大衆を支配します。誰もが外出することを恐れている。誰もが人に近づくのを恐れている。誰でしたっけ、こう言ったのは一人ではありません。「もう二度と握手はしない方がいいだろう。」本当ですか。これまでは、これは大体において、自発的なものでした。私はアメリカを代表して発言しています。確か金曜日だったと思いますが、ここホノルルの州議会議事堂で抗議行動がありました。それほど大勢ではありません。双方の抗議者がいたと思います。「再開しろ」と抗議する人も、「再開するな」と抗議する人もいました。「安全第一！」「命を守れ！」繰り返しますが、私はもっと悪い状況になると思います。でも、私は自分で考えていました。

人々は二度と...抱きしめたり、握手したり、誰かに寄り添ったりしない？ああ、いずれは、するかもしれませんがね、そのうちに。COVID-19 ウイルスを持っていないことを証明するような何等かの検査があって、彼らがそれを証明することができる時に。今はその話はしません。私たちはすでに、時間をかけて、詳しく、そのことの預言的意義について話しました。そして、黙示録13章で告げられている通りの技術になっているか。もう一つの見解を言ってから、締めくくります。何年も前に読んだ記事があるのですが、とても面白かったんです。私はそれまでこんな風に考えたことがありませんでした。聖書にあるこれらの預言は、その時点で利用可能になる技術を描写しています。例えば、黙示録13章を見てください。黙示録13章が実現するためには、そのための技術が整っていきなくてはなりません。そしてその技術は、すべての人を追跡することができなければならないのですが、それは、必要最小限の商品やサービスにアクセスするために、右手や額に付けられた印を介してなされます。その技術が整っていなければなりません。言ってみれば、処理能力です。実際にそれを円滑に進めるための。そして、その技術は存在しています。しかし、その記事は、こういうものでした。これがとても面白

かったのです。聖書には、その先の技術については書かれていません。お聞きください。言い換えれば、聖書のどこにも、我々が他の惑星に行くとか、他の技術が存在するなどとは、示されていません... AI、つまり人工知能以外のことは。ところで、「獣の像」というのは、それは別の機会の全く別の題材ですが、しかし、聖書に記載されている技術は、すでに今日存在しています。そして、技術がこれほど急速に 進歩してきたのですから、もし技術が進歩し続けるならば、聖書に記載されている技術を 超えるものになっても、おかしくないでしょう。言い換えれば、私たちはすでにその技術を持っています。10 年前、、、技術の進歩の面で、過去 5 年間にだけでも 何が起こったかを見てください。私は、今から 5 年後には、技術の進歩は、聖書預言に記載されている 技術を超えるだろうと思います。神の御言葉が私たちのために描写している技術は、 今日存在する技術です。5 年先のものではありません。それは聖書に記載されている技術を 超えているでしょう。すでに「最後」と言ったことは分かっている... これが最後の最後です。それから締めくくります。皆さんの忍耐に感謝します。もう少しで終わりです。今、私たちには「第二の波は避けられない」と告げられていて、彼らが追跡可能なワクチンの開発を急いでいるなら、彼らのスケジュール、つまり我々のものではなく、彼らのスケジュールでは、最良のシナリオでは、12 ヶ月

最悪の場合では 多分 1 年半、18 ヶ月。そして私たちに告げられていることは、これらのことがすべて起こり、それが究極的に成就するのが 7 年間の大患難時代の間である、ということです。私たちは今、その方向に向かって 非常に速く動いているのを目にしています。そして、携挙が起こらなければならないのが... 繰り返さう言うのを許して下さい。しかし、もし、、、あなたは 大患難前携挙について、どっちつかずでいてはいけません！ もしも、あなたがどっちつかずでいるなら、申し訳ありませんが、私はあなたを気の毒に思います。何が私を落ち着かせるか、知っていますか？何が私の正気を保っているのか？特に今、世界のこの状況下で。それが事実であると知っていることです。理論ではありません。それが真理であり、健全な教義であると知っていることです。教会は、7 年間の大患難の前に、携挙されなければならない、と。それが何を意味するかご存知ですか？私は、彼らがこのワクチンを開発して、こう言うのを心配しなくてもいいんです。「さあ、さあ、さあ、いい話があるんだ。」「外に出たい？」「仕事に戻りたい？」「自分の生活に戻りたい？」「買ったり、売ったりしたい？行ったり来たりしたい？」「あなたがこれを持っていれば...」私はここにはいません。私は決してその決断をしなくて済むんです。「どうしてそんなに確信が持てるのですか？」それが確かな預言の御言葉だからです。それは狡猾に考案された寓話ではなく、人が作ったものではありません。これは「さらに確かな預言のみことば」であると ペテロは言います。それが私を落ち着かせ、私のために解決してくれます。私はこれについて心配していません。私は滅されないんです。私は連れ出されるのです。そして、それが良い知らせ。それが祝福された希望です。テトスへの手紙 2 章 13 節。あの「祝福に満ちた望み」です。私たちは、反キリストの出現の前に 私たちが連れ出されることを知っているのです。この強力な欺きと惑わしは、既に働いていて、すでに成功もしているのです。で、次は何かご存知ですか？あなたがクリスチャン、神の御霊によって新生したクリスチャンであるなら、次に起こることは、携挙です。あなたが新生したクリスチャンでないなら、あと 3 分だけいただけますか？あともう 3 分。なぜなら、あなたがそうでないなら、あなたは 7 年間の患難時代を経験するからです。それは言い表せないくらい怖いことなのです。

私があなたと共有したいのは、あなたが今日、永遠の命のために、人生の最も重要な決断をする事が

できる事、あなたもまた、あの祝福された希望を持つことができるという事です。すぐに、本当にまもなく、あのラッパが響き、

「まず、キリストにある死者がよみがえり、.....それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて引き挙げられ、（携挙され）、空中で主と会うのです。」（テサロニケ第一 4:16-17）

文字通りに「地獄があふれ出す（大混乱に陥る）」前に。それが良い知らせです。それが福音です。イエス・キリストの救いの良い知らせ。福音とは：イエスがこの地上に来られ、彼は十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられ、そして、彼は再び戻ってこられます。それが良い知らせです。ここ数年、2年以上、私たちは毎週、”救いのABC”を やって来ました。毎週、私はやり続けます。ある日私が”救いのABC”を やらない週が来ると思います。それは、私がそれをしなくても良いからで、そして、それは私がもうここにはいないからです。救いのABCをする前に、私たちがこれをする理由、また、し続ける理由の一つを 皆さんに共有したいと思います。これは先週、私たちのYouTubeチャンネルに投稿されたコメントです。Dan Warnickeさんのものです。「JD牧師、私はあなたの救いのABCを通して10月に救われ、明日洗礼を受けます。どうもありがとうございます。神を褒めたたえます。」

”救いのABC” とは何でしょうか？ どうやって救われるか、子供でも分かる簡単な説明です。

A：自分が罪を犯し、救い主を必要としていることを Admit/認める または、Acknowledge/認識する。**ローマ人への手紙3章10節、「正しい者はいない。一人もいない。」**

そして、ローマ人への手紙3章23節が、その理由を教えてください。

「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ3:23）

私たちは皆、罪びととして生まれたので、天の御国に入るためには、新たに生まれなければなりません。ローマ人への手紙6章23節。これは、最初に悪い知らせがあり、... それはホントに良くないものです。そしてそれから良い知らせ。悪い知らせが、良い知らせに備えて あなたを準備し、備えさせます。悪い知らせとは何でしょう？

「罪が支払う報酬は死です。...」（ローマ6:23a）

それは死刑宣告です。それが悪い知らせです。私たち皆が罪を犯しました。今、その罪の罰、その罪の報酬は 死なのです。しかし、ここに良い知らせがあります。

「しかし、神の賜物は、私たちの 主キリスト・イエスによる永遠のいのちです。」（ローマ6:23b）

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると Believe/信じる。ローマ人への手紙10章9節～10節。

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ10:9）

そして最後にC：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

ローマ人への手紙10章9節～10節は続けます。

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ10:9）

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ10:10）

そして、ローマ人への手紙10章13節。これが決定打です。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」（ローマ10:13）

私たちの唯一の希望です。私たちの希望はこの世にはありません。私たちの希望は、この世の救い主にあります。祈りましょう。

主よ、ありがとうございます。主よ、あなたの御言葉の中で 私たちに教えてくださっている事を感謝します。終わりの時には 世界がどんな状況にあるかを。主よ、私たちに、それが起こる前に 教えてくださっている事を感謝します。それが起こり始めるのを見ると、未信者が信じるため、そして信者は、自分たちの贖いが近づいているのを知って、身を起し、頭を上げるためです。主よ、私はこれを見ている人で、本当に傷つき、労苦し、落胆し、絶望に陥っている人たちの為、あなたが彼らを回復させ、励まし、心を強め、希望を新たにしてください。 「何が起こるか」にではなく、「誰が来られるのか」にある希望を。彼らの望みを、イエス様、あなたにおいて、新たにしてください。あなたが私たちの唯一の希望です。主よ、まだ見ている方々の事を感謝します。 その方々の中に、口で告白し、心で信じて、あなたを呼んだことがなく、自分の罪を認め、あなたが必要なことを認め、あなたを信頼したことがない人がいれば、主よ、今日が彼らの救いの日になることを祈ります。主よ、ありがとうございます。私たちはあなたをととても愛しています。イエスの御名によって祈ります。

アーメン。アーメン。簡単な連絡です。木曜日の夜、一緒に聖餐式をします。皆さん、聖餐式セットをご準備ください。私たちは通常、毎月第1日曜日に行っていますが、主が木曜の夜に、皆さんにお話しするよう 私の心に強く示されたことがあり、そして、聖餐の食卓も一緒に分かち合います。皆さんご参加ください。その時まで、神の祝福がありますように。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7